

■吉富簡一 地方政治家。長州藩にあって志士を支え、維新後、山口県政に重きをなし、“矢原將軍”と称された。
よしとみかんいち
適塾ホヰン・ 1838＝ 長州藩の周防国吉敷郡矢原村(山口市)で、代々庄屋で大庄屋を勤めた吉富家惣右衛門の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 7歳：
・・・・・・ 1847＝ 9歳：

ペリー来航・ 1853＝15歳：
開国開港・・・・ 1854＝16歳：父の病気により家督を継ぐ。
松下村塾・・・・ 1856＝18歳：

桜田門外変・ 1860＝22歳：
一貫して尊王攘夷派を支援し、周布政之助の活動を助け、
禁門の変・・・・ 1864＝26歳：馬関攘夷費として藩札85貫を献納し、士籍に編入された。知行米12石5斗。
薩摩藩士密航1865＝27歳：諸隊挙兵のときは、同志とともに鴻城軍を組織、閉門謹慎中の井上馨を総督に推し、みずからは参謀兼会計長として活躍した。

明治維新・・・・ 1868＝30歳：明治維新後、上京、
この間の脱退騒動には、木戸孝允を助けて叛乱鎮撫に当たる。
初の日刊新聞1870＝32歳：小菅県大属、
廃藩置県・・・・ 1871＝33歳：大蔵省営繕寮大属となったが、〈廃藩置県〉で、藩債処分によって五千石にのぼる藩への債権が切り捨てられ、家計再建のため帰郷した。
明治6年政変 1873＝35歳：
佐賀の乱・・・・ 1874＝36歳：井上馨の先収会社の大阪店頭取となるが、

三つの内乱・ 1876＝38歳：同社解散により帰郷。
西南戦争・・・・ 1877＝39歳：山口県協同会社議員として県政に登場、
沖縄県編入・ 1879＝41歳：*初代県会議長となり、自由民権論に対抗して独特の反民権論を提唱、

明治14年政変1881＝43歳：
新体詩抄・・・・ 1882＝44歳：*鴻城立憲政党を結成して主幹となった。
岩倉具視没・ 1883＝45歳：
秩父事件・・・・ 1884＝46歳：防長新聞社を創立して社長。

帝国憲法発布1889＝51歳：
帝国議会始・ 1890＝52歳：*第1回来議院総選挙に当選、通算3期。

大本教・・・・ 1892＝54歳：
日清戦争始・ 1894＝56歳：

田中正造直訴1901＝63歳：

日露戦争終・ 1905＝67歳：

韓国併合・・・・ 1910＝72歳：
晩年に至るまで長州閥の故地山口県の県政に重きをなし、“矢原將軍”と称されて、
明治天皇没・ 1912＝74歳：
第一次大戦始1914＝76歳：没した。